

第1回 関西の外国人医療を考える会

企画者(谷口恭)からのメッセージ:

先月(2018年6月)三重県津市で開催された第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会のなかの外国人医療のシンポジウムがきっかけでこの会を開催することとなりました。第1回の今回は多数の意見を伺い関西の外国人医療の問題点を浮き彫りにしたいと考えています。前半は各立場からの講演、後半は参加者の皆さんからの意見をたくさん承りたいと考えています。外国人への医療について、日ごろ感じていることを思う存分ご発言ください!!

■日時: 7月29日(日) 15:00~16:45頃

■場所: 大阪市立大学医学部 4階 小講義室2 (大阪市阿倍野区)

■参加資格者:

外国人医療に関心のある医療従事者及び医学生・看護学生など医療系学生
外国人医療に携わるNPO・NGO及び関係者

■目的: 現在の関西(特に大阪市内)の外国人医療に関する問題点を浮き彫りにする。

■方法: 6人の演者が各立場から外国人医療の実情及び問題点を指摘し、その後パネルディスカッション形式での討論。会場からの意見も積極的に取り入れる。

■演者: (順番未確定。演者追加の可能性あり)

①谷口恭((医)太融寺町谷口医院)

「当院の外国人医療の実情と問題点、他施設に望むこと」

②白野倫徳(大阪市立総合医療センター感染症内科)

「病院からみた外国人医療の現実と問題点」

③堀成美(国立国際医療研究センター 国際診療部)

「新規患者の外国人が10%超えの医療現場で経験していること」

④澤田真弓(メディフォン株式会社代表取締役 CEO)

「mediPhoneを用いた遠隔での医療通訳について」

⑤青木理恵子(NPO法人CHARM事務局長)

「支援者から見た在住外国人医療支援の現状と課題」

⑥木戸友幸(愛港園診療所)

「外国人診療でのMUSTS: NYC, Paris, 大阪での診療より」

■参加費: 無料

■単位: 1.5単位(医師)が付与されます

■お問い合わせ: (医)太融寺町谷口医院院長 谷口恭 (cyc02414@nifty.com)